



**【鳥インフルエンザ対策を緩和】
鳥類の展示・アトラクションを
2025年3月20日（木・祝）より順次再開いたします**



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、日本国内での高病原性鳥インフルエンザの発生状況を受けて、飼育鳥類を疾病から守るために2024年11月2日（土）よりペンギン類などを除く鳥類の展示を休止しております。この度、国内での発生事例が減少していることを受け、**2025年3月20日（木・祝）よりおよそ4か月ぶりに鳥類の展示を順次再開いたします**。なお消毒マットの設置や手指消毒などの感染防止対策は継続いたします。

【鳥類の展示再開について】

■再開日

2025年3月20日（木・祝）～ ※順次展示を再開いたします。

■再開する内容

- ・ふれあい広場の鳥類展示
オニオオハシ／ガンカモ類／カンムリヅル／クジャク／コンゴウインコ類／
ショウジョウトキ／フラミンゴ／モモイロペリカン
- ・ファミリー広場の鳥類展示
フラミンゴ／ルリコンゴウインコ
- ・エントランスドーム、ペンギンベース前のケーブペンギン展示
- ・ふれあい広場のゴシキセイガイインコのおやつタイム

※なお、ふれあい広場内の「水鳥の池」は現在工事中のため展示休止を継続いたします



■継続する感染防止対策

- ・ゲストエリアの防疫対策

入退園ゲート及び鳥類飼育施設の出入り口に足元の消毒マットを設置

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

